

## 支部報告

## 「さあ、となりの人と話をしてみましょう」 体験型コミュニケーションセミナーを実施

鳥取県支部 地域交流会・医業経営セミナーから

日本医業経営コンサルタント協会は11月3日(日)、医業経営コンサルタントと地元の医療業界の人々が集う地域交流会を鳥取県米子市で開催した。講演は、「あなたがそばにいと元氣や勇氣がわいてくる～他者に温かい関心を持ち、挨拶を交わし、みること、きくこと、伝えること～お話と気づきの体験学習一」(鳥取大学医学部准教授 高塚准氏)と「医療法人の上手な相続と事業承継」(税理士法人青木会計代表税理士 青木恵一氏)の二題。ここでは、高塚氏の講演からポイントを紹介する。

### 「あなたがいるから幸せになれる」

高塚氏は高校の教師を30年続けた後、鳥取大学の医学部に招聘されてコミュニケーションについて教鞭を執っている。とっとりコミュニケーション研究会の会長でもある人物。

「あなたは、今どんな人とかかわって生きていますか。あなたが、必要としている人はだれですか。思いつく限り手元の紙に書いてください」

「ここに描いた絵は、なんに見えますか。人によって見え方が違いますね」。

高塚氏は、開始早々から聴者に質問を出し、軽い実技を交えはじめた。十分な間とはっきりとした言葉づかいは昔学校で聞いた先生の語り口調そのものであり、聴者の心は次第にほぐれていった。

「それでは、紙の上と下に三角を3つ書いてください、大きなまるを書いてください・・・他人のを見てはいけません。さあ、すぐ書いて」。

「書けた後は、さあ他の人が何を書いたか、席を立て歩いて見てください」。

紙を椅子の上に置き、高塚氏に促されるまま



高塚准氏

全員が立ち上がって他の人の紙を見に行く。三角が上下に合計6個書いてある人、大きく漢字で「丸」と書いた人。会場中に次第に笑いが巻き起こる。すかさず高塚氏は「そうなんです、人と人は違うんです。皆さん身をもってそれが今、わかりましたね。だから、コミュニケーションが必要なんです」会場全員が大きく笑顔でうなずいた。

コミュニケーションの大切さを理解した後、今度は周囲の人と2人組になって自己紹介をし合う。周囲の会話が気にならないよう、会場の隅々までいっぱい散らばってミーティングタイムが始まった。天井の高いホールは、熟練の医業経営コンサルタントたちのはつらつとした声に満たされた。さらにその後、相手との会話に故意に条件の負荷をかけて再度対話を行う。会場が一体となり、あっという間に時間が過ぎたこの異色のセミナーは、参加者の心に幸せの果実の種を残した。この記事が皆さんに読まれているころ、米子から広がっていったその種は、各地で新たなコミュニケーションの芽を出し始めているかもしれない。(編集部)